

2022年に入りまして、世界的な半導体不足をはじめ、各原材料、部品の納期遅延や仕入価格の高騰が続いています。今回は、部材の価格高騰の状況についてお伝えします。

部材の価格高騰の状況

原材料価格の高騰と輸送コストの増大による各種部材の値上げ通知と納期に関する情報が多くの商社様から届いています。昨年からの価格高騰が続いていますが、その範囲は拡大しつつあります。電子部品や材料価格の状況は以下の様です。

サプライヤー	主な製品	価格、納期情報
Allegro Microsystems	半導体関連	● 2022年1月1日より 10% の平均価格値上
Analog Devices	半導体関連	● 全MSOPシリーズで 12~16% の値上
Broad com	半導体関連	● 2021年10月15日以降の注文に対して、シリーズにより 21%~40% の値上を発表
Intel	半導体関連	● 2021年12月5日より、 5~20% の平均価格値上を開始 ● インテル/アルテラの10M-xxxシリーズの価格が大幅に上昇
KOA	抵抗器	● KOA社のマレーシア工場では70~80%の減産を行っている ● RK73シリーズが不足しており、納入時期が未定となっている
Maxim Integrated	半導体関連	● Analog Devices社の傘下に入ったMaxim社は、全体的に 16% の値上をする見込み
Nordic	半導体関連	● 10~36% の値上を発表し、2021年12月1日から様々な製品シリーズで実施
NXP	半導体関連	● 第4四半期末に 20% の値上を予定している ● MPCおよびLPC MCUシリーズの注文を予告なくキャンセルしている
Onsemi	半導体関連	● 第4四半期に既存の部品や滞留している部品の価格が 40% 程度上昇する可能性あり
Renesas	半導体関連	● 25~35% の値上
Qualcomm	半導体関連	● 次の四半期に 40% の値上を予定 ● CSRxxシリーズの契約価格は2倍になり、2022年には 30~50% の値上が予想される
Skyworks	半導体関連	● 2021年第3四半期にSilicon Labsを買収し、全てのオープンオーダーを 30% 値上する
STMicroelectronics	半導体関連	● リードタイムが最大 70 週に及ぶ全てのシリーズで 16~30% の値上を実施
Texas Instruments	半導体関連	● 20~50% の値上。全シリーズの部品のリードタイムが70週以上におよぶ
TDKラムダ	スイッチング電源 ノイズフィルタ等	● 値上率→電源及びアクセサリ：一律 5.9% 、ノイズフィルター：一律 7.8% 2022年2月1日以降の新規注文分から
Toshiba	半導体関連	● フォトカプラー：TLP184/TLP185/TLP290/TLP291の 1ch品が 20% の値上 2022年1月1日以降出荷分から適用
Traco Power	スイッチング電源等	● 2021年12月1日から平均 5~6% の値上
Xilinx	半導体関連	● 10~20% の値上を行う旨の公式通知を設定し、2021年11月1日に発効した
金属材料	銅	● 2021年1月に対して、 35% の値上
	アルミ地金	● 2021年1月に対して、 40% の値上
	鋼材(冷延薄板)	● 2021年1月に対して、 60% の値上

(出典:リバウンドエレクトロニクス様、他)

各種素材や部品の価格高騰と納期の延期や未定は、製造業全体に広がっています。米中の景気回復や脱炭素化の流れで電気自動車へのシフト等による需要拡大が背景にあります。価格高騰は調達コストが膨らみ大きな問題です。また、年度末を控えて、部品調達により年度末までに納入ができなくなるとより深刻な問題となります。この状況はしばらく続くと予測しますが、幅広く情報を集めて細かく監視を続けて参ります。

[後記]

今年は平年よりも雪が多く寒い日が続いています。そんな中で、この時期スタッドレスタイヤを履かせるアルミホイール不足や給湯器の品不足が発生し私生活にも何かと影響がありそうです。これらは、昨年の中国の停電騒ぎとか東南アジアのロックダウンが直接の原因とのことですが、現在も新型変異株のオミクロン株の感染スピードが速く、世界各地で大量の感染者が出ていることからしばらくはサプライチェーンの混乱は続きいろいろなところで影響が出るのではないかと予測しています。

本格的な回復には時間がかかるかも知れませんが経済活動の回復などの明るい兆しも見えて来ている中で、お客様に少しでもお役に立てるような情報を発信して参りますので 今年もよろしくお願いたします。